



第2回

語り部講演会

～多磨全生園「人権の森」を考える～



語り部 佐川 修氏
(多磨全生園入所者自治会会長)

国立療養所「多磨全生園」の園内にある豊かな森。その礎となったのは、かつて、不治の伝染病とされて過酷な差別と偏見にさらされた入所者の方々の「思い」です。

国の強制隔離政策の下で入所者は、人間の尊厳、人権の回復を求めて闘い続ける一方で、様々な思いを込めて木を植え、育ててきたのです。

過ちを繰り返さないために全生園の緑を未来に残す「人権の森構想」とともに、人権とはなにか、語り部と考えてみませんか。

DVD上映「ひいらぎとくぬぎ」

大正初期、ハンセン病(旧らい病)を発症した少年が多磨全生園で生き抜いていく姿を、聞き取りや参考文献をもとにドラマ化しました。(登場人物は架空になります)

後半では、現在の多磨全生園での活動、園内に数多くある史跡や風景、そして「人権の森構想」を紹介しています。



(製作：東村山市・多磨全生園入所者自治会)

【日時】平成 28 年 1 月 30 日 (土)

13 時 30 分～ 16 時 (13 時開場)

【会場】ふるさと歴史館 視聴覚室 (東村山市諏訪町 1-6-3)

東村山駅西口より徒歩 8 分、またはグリーンバス 3 分

【定員】100 名

※ 事前申し込みの必要はありません。当日、直接会場にお越しください。
(先着順とさせていただきます)

【プログラム】

- | | |
|----|------------------|
| 1. | DVD 上映「ひいらぎとくぬぎ」 |
| 2. | 語り部講演 (佐川修氏) |

ふるさと歴史館ロビーにて
多磨全生園 展示コーナー開設中



公共交通機関をご利用ください

